

接続料の算定に関する研究会（第18回）

～LRICモデル判定におけるスタックテスト検証について～

2019年2月6日

ソフトバンク株式会社

LRIC検証に関する検討事項

検討事項

(2018年12月19日「接続料の算定に関する研究会」第17回資料より)

- ① 「認可接続料に比べ**他事業者接続料**の著しい上昇により利用者料金と接続料の差分が営業費相当基準額を下回る」という**他律的要因を客観的かつ定量的に確認**するとすれば、どのような方法があるか。
- ② 上記①の**他律的要因以外**に、LRIC検証に当たって考慮して取り扱うべき他律的要因がある場合、**当該他律的要因を客観的かつ定量的に確認**するため、どのような方法があるか。

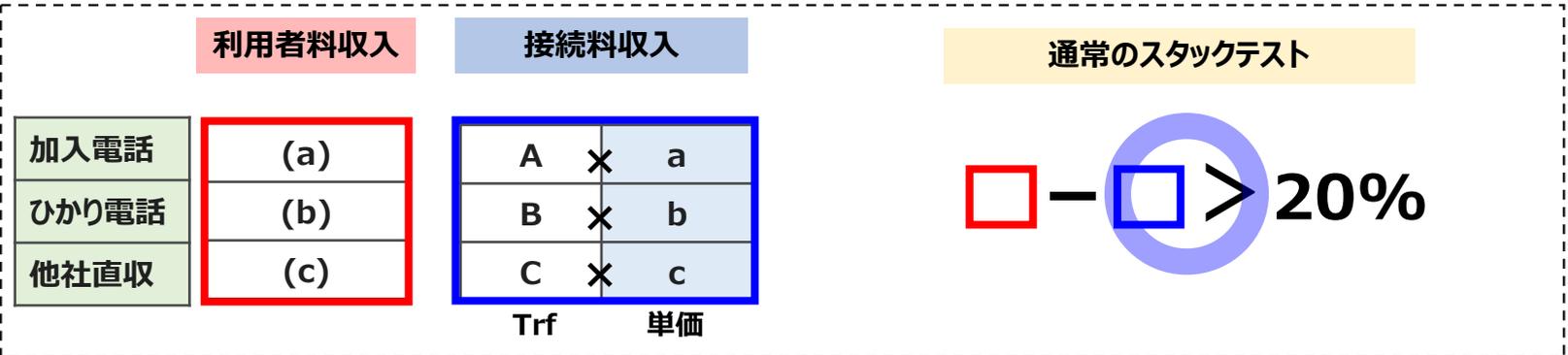
弊社考え

- LRIC検証に用いるスタックテストに他律的要因を考慮するのであれば、**他事業者接続料だけではなく、ひかり電話接続料の影響も含めて考慮すべき**
- また、他律的要因については、利用者料金と接続料の差分が基準を下回る場合のみならず、基準を上回る場合にも影響を与えるため、**基準値の検証結果に依らず、検証する必要あり**

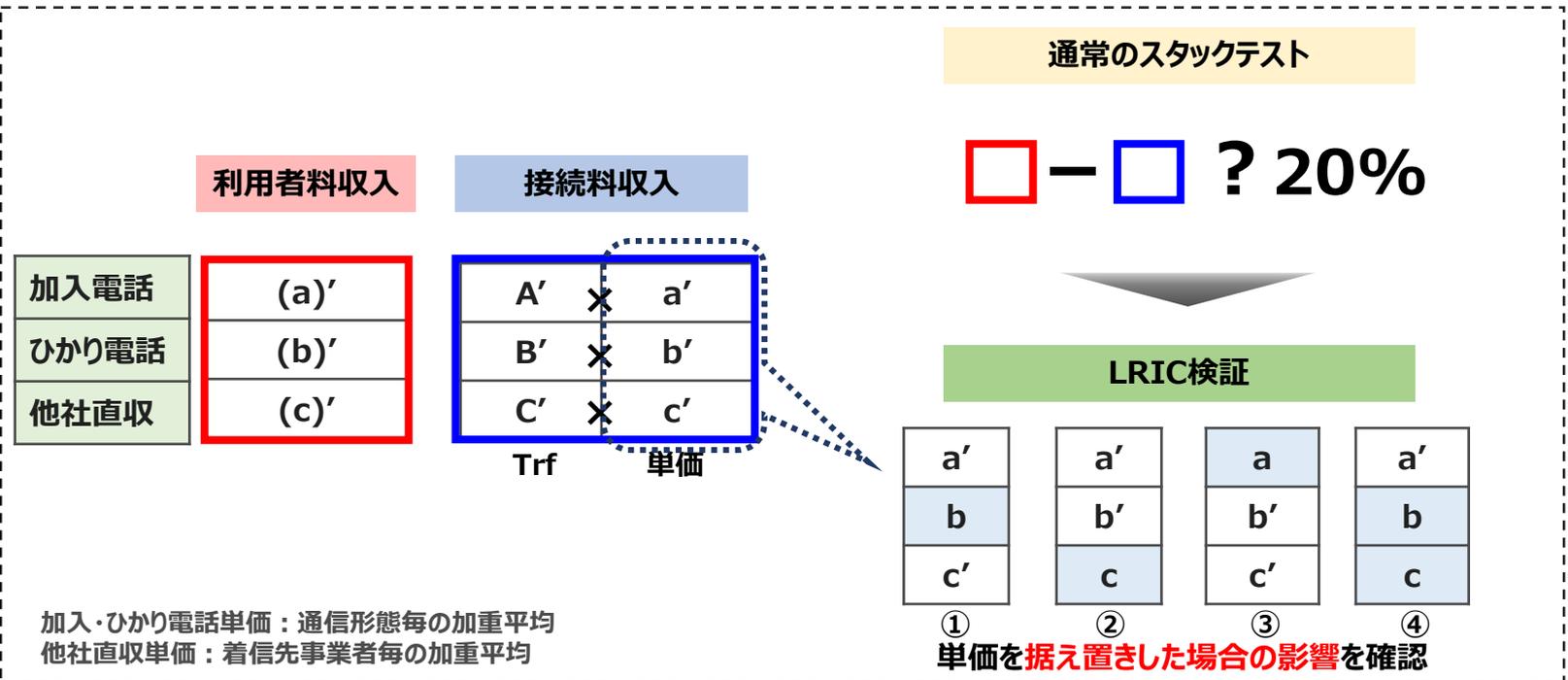
他律的要因の確認方法案

着信先単価を前年度単価で据え置きした検証を実施し元と比較することにより、当該単価の増減影響が定量的に確認できる

前年
(例：FY18)



検証対象年
(例：FY19)



他律的要因を除いたLRIC検証方法案

- LRICモデル選定基準には、加入電話着のみの単価影響を考慮した④の結果を採用
- 下表のパターンB・Cは、他律的要因の影響を除くと基準に抵触するため、IPモデルへの移行を進める

	FY18	パターン		
		A •加入電話：+22% •ひかり電話：▲10% •他社直収：+15%	B •加入電話：+25% •ひかり電話：▲5% •他社直収：▲20%	C •加入電話：+24% •ひかり電話：▲10% •他社直収：▲5%
スタックテスト結果	32.6%	 19.5%	 20.4%	 20.7%
① ひかり電話接続料を据え置き	-	 19.2%	 20.3%	 20.4%
② 他社直収接続料を据え置き	-	 21.2%	 19.5%	 20.2%
③ 加入電話接続料を据え置き	-	 31.2%	 35.0%	 33.5%
④ ひかり+他社直収接続料を据え置き	-	 20.9%	 19.3%	 19.9%

<前提> ※イメージを表現するため以下前提で簡易計算を実施。実際は実TRF、利用者料金で計算。

- 呼当たり保留時間は一律110秒、加入・ひかり・他事業者の着信比は4：3：3、利用者料金は12円。